

シリーズ
人権を
考える⑦

人権尊重社会の実現をめざしてⅡ
「ヘルプマーク」を知っていますか？

見かけたら思いやりのある行動が求められます



ヘルプマークは、援助や配慮を必要とする人が、周りの人にそのことを伝える印です。義足や人工関節を使っている人、内部障がいや難病、妊娠初期の人などは、外見から分かりません。

赤地に白色の十字とハート型がデザインされたヘルプマークの裏面には、障がいの内容や必要な支援が記入してあります。これをカバンなどに付け、周囲に知らせるようになっています。現在、島根県を含め35都道府県で導入されて

▲マーク面の大きさは、たて85ミリ・よこ53ミリ。シールに必要な支援などを記入し、片面に貼ることができます。



います。安来市では福祉課、市民課、伯太地域センターで希望する人にお渡ししています。

ヘルプマークを身に着けた人は、外見からは健康に見えますが、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなど、同じ姿勢を保つことが困難だったりする場合があります。見かけた私たちは、電車・バスの中では席を譲ったり、駅や商業施設等で困っている様子があれば、声をかけたりするなどの思いやりのある行動が求められます。

また、災害や突然の事故等に遭遇した時には、自力での迅速な行動が困難な人がいます。安全に避難するための支援が大切になってきます。

ヘルプマークに気づいたら温かく見守り、自分にできる配慮や援助を行う人が増えていくことが、やさしい地域づくりにつながっていきます。

指導講師による出前講座の開催や啓発用DVDの貸し出しを行っています。【問い合わせ】人権施策推進課 ☎23-3095



中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議設立総会（5/22）

圏域の自治体、議会、経済団体が一体となり「中国横断新幹線」（伯備新幹線）と「山陰新幹線」の整備計画路線への格上げを目指します。



DBS クルーズフェリー船内セミナー開催（6/28）

行政や商工団体の職員を対象にした韓国・ロシアを結ぶ国内唯一の定期貨客船の船内見学と講義を行い地域経済の活性化を図ります。



山陰
まんなか
共創圏

中海・宍道湖
・大山圏域
市長会
通信⑪

連携・交流が目的の補助制度

市長会では、圏域内企業の海外展開支援、圏域内の連携・交流推進を目的とした補助制度を設けています。

次の補助金は令和2年3月末までに実施するものが対象です。審査のうえ、予算の範囲内で交付します。

補助金交付の要件、金額および申請方法などの詳細は、市長会ホームページをご覧ください。補助金の交付要領、募集要項などを

掲載しています。
ホームページアドレス
<https://www.nakaumi.jp/>

○海外商談会参加等支援補助金

中海・宍道湖圏域（安来・松江・出雲・米子・境港）内の企業・団体が対象です。海外での外国人観光客誘致および自社製品、技術等の海外への販路開拓のため海外商談会等へ参加する経費の一部を補助します。募集期間：令和2年1月31日まで

○文化・スポーツ交流促進

事業補助金

圏域で活動をする団体が対象です。スポーツや音楽、映画、演劇、伝統芸能等の芸術・文化等に関する事業の開催経費の一部を補助します。事業開催市の住民だけでなく、中海・宍道湖・大山圏域の住民が参加できるものが対象です。募集期間：令和2年2月28日まで

